

第16回全国大会 コンサートin取手



シニアアンサンブルあすなる

第16回全国大会 コンサートin取手に参加して

シニアアンサンブルあすなるは平成19年7月にスタートして15年になります。今回初めて全国大会に出演しました。コロナ禍が始まる前は30分のお茶会でお喋りをしたり和気藹々の練習でした。演奏は福祉施設への慰問演奏が中心で定期演奏会など大舞台の経験が有りませんでした。

指導・指揮に鴨井次郎先生をお迎えして「ラデツキー行進曲」他2曲を2ヶ月特訓して大会に臨みました。あすなるはトップバッターで緊張しましたがメンバーが一丸となって無事に演奏を終えて皆と他のアンサンブルの演奏を最後まで楽しみました。最初心配でしたが、メンバーの人も喜んで、参加して本当に良かったと思っています。小泉安治



流山シニアアンサンブル

第16回全国大会によせて

私たち流山シニアアンサンブルは、岡村全連理事長の情熱と横林歩先生との出会いにより2021年6月に設立しました。設立してまだ日が浅いにもかかわらず、岡村さんの強い勧めもあり全国大会参加を決意。途中、新型コロナウイルス禍による練習中止もあり、練習時間の確保に苦労する中、何とか3曲を仕上げ、取手のステージに立つことが出来ました。

団員みな、人前で演奏するという目標があつてこそこの充実した練習であることを改めて実感でき、演奏後の達成感を共有できたことが何よりのことでした。同じ「シニアアンサンブル仲間」の演奏を聞くことが出来たことも加え楽しい一日となりました。運営に携わった皆様に感謝します。代表 岩瀬進介



龍ヶ崎シニアアンサンブル

出場は、エイヤの決断でしたが、たくさん成果をうる事ができました。私たち「龍ヶ崎シニアアンサンブル」のデビューという立派な舞台でスタートすることが出来ました。岡村理事長から全国大会への推薦を頂き感謝しております。

さて、本番前のリハまで来ました。しかし、皆さんの視線は方向が定まらず、古谷先生の指揮にも呼吸が合わせられず散々なリハでした。ところが、本番は開けてびつくり、練習通りの演奏ができました。後で、いろいろな方々からお話を伺いましたが、良い評価のコメントをたくさん頂きました。素晴らしい機会をありがとうございました。代表 谷岡憲隆